

⑦  
アブラハム

聖徒たちと歩む聖書 ~15~  
アブラハム その7

「神の御子の犠牲の上に」

創世記22章 イサクの奉獻

## 【今日のアウトライン】

### 0. ふりかえり

選ばれる民の使命

### I. ゲラルで 繰り返される過ち

### II. イサクの誕生

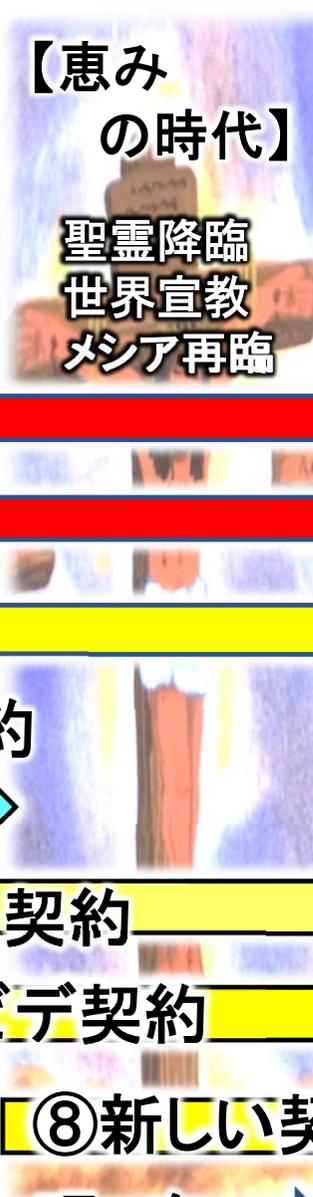
### III. ハガルとイシュマエル

### IV. ベエル・シェバでの契約

### V. まとめと適用

救いと信仰の成長のステップ





【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪  
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム  
~ヤコブ

イスラエル王国時代  
メシア初臨

聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来

## 【創世記1～11章までに明らかになったこと】

①人類は、たった一つの約束も守れなかった。



②人類は、**良心**によって、世界を正しく治めることはできなかった。



③人類は、**組織**によっても、世界を正しく治められなかった。

人間は、自分の努力で、神との平和を作り出すことはできない!!  
人類の希望は、神が約束された女の子孫、メシアにある!!

神の計画が、いよいよ、アブラハムから動き出す!!

## 【アブラハム契約とは】

### ■聖書全体を貫く大原則

神が一方向的に結んだ無条件契約が、世界を導く。

## 【三つの主な条項】

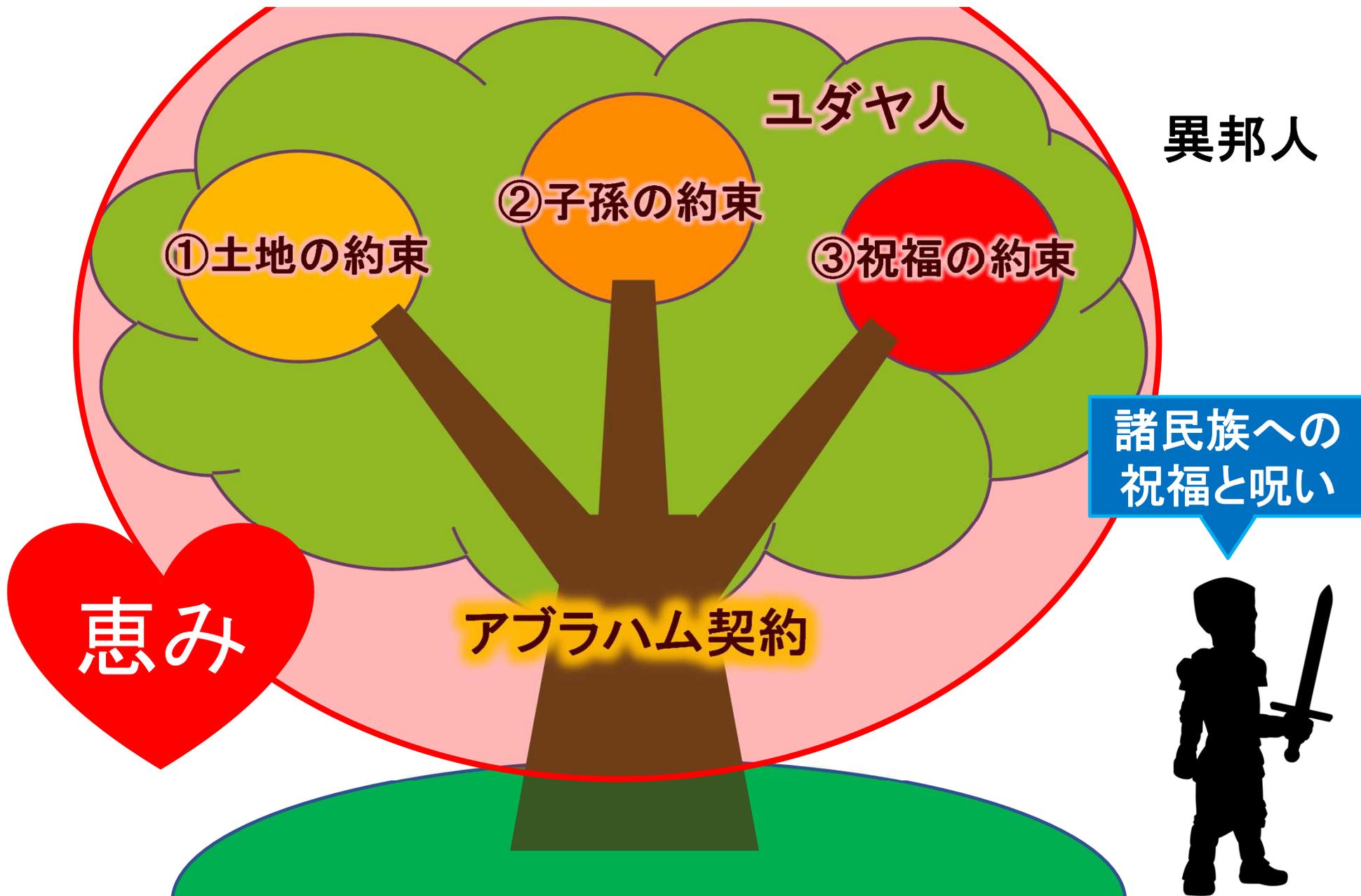
- ①子孫の約束 ...数えられないほど子孫を増やす。
- ②土地の約束 ...ナイル支流からユーフラテスまで。
- ③祝福の約束 ...子孫からメシアが誕生する。

※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。(創12:3のみ)  
例)エジプトでの出来事。ロトの奪還。

※しるし ...割礼



【アブラハム契約】



## 【アブラハムのとりなし】

■ 神の選びの民には、試練がある!!

エジプトでの400年の奴隷生活。(創15:13~16)

⇒カナン人の悔い改めの猶予期間。

■ 選びの民には、使命がある!!

【主】の道を守らせ、正義と公正を行う。(創18:19)

■ ソドムのために、とりなし祈ったアブラハム。

神と全民族の仲介者、祭司として。(創18:22~33)

**アブラハムの子孫に、真の大祭司イエスが誕生!!**



1

神の召命・約束

70

2

カナンで最初の礼拝

75

エジプトでの失敗

ロトとの別れ

3

子孫の祝福①「砂粒」

ロト奪還作戦

4

子孫の祝福②「星」 契約締結

76

イシユマエル誕生

86

5

割礼の命令

99

6

イサク誕生の予告

99

ソドムの滅亡

ゲラルドでの失敗

イサク誕生

100

7

イシユマエル追放

人生のピーク直前で、  
アブラハムが体験したこと

【アブラハムの生涯】

# I. ゲラルで 繰り返される過ち

創世記20:1～18

## 【繰り返される過ち】 創20:1～2

ゲラルに滞在中、アブラハムは、自分の妻サラのことを、「これは私の妹です\*」と言ったので、ゲラルの王アビメレク\*は、使いをやって、サラを召し入れた。

\* 25年前のエジプトでの過ちが再び!!

\* アビメレク ...この地方の王の称号。

■ この時、サラ、89歳!!

政略結婚的な意味合いもあった？

それにしても!!



## 【アビメレクに現れる主】 創20:3～5

ところが、神は、夜、夢の中で、アビメレクのところに来られ、そして仰せられた。「あなたが召し入れた女のために、あなたは死ななければならない。あの女は夫のある身である。」

アビメレクはまだ、彼女に近づいていなかった\*ので、こう言った。「主よ。あなたは正しい国民をも殺されるのですか。彼は私に、『これは私の妹だ』と言ったではありませんか。そして、彼女自身も『これは私の兄だ』と言ったのです。私は正しい心と汚れない手で、このことをしたのです。」

\* 少なくとも数ヶ月は経過していた?!



## 【神の語りかけ】 創20:6～8

神は夢の中で、彼に仰せられた。「そうだ。あなたが正しい心でこの事をしたのを、わたし自身よく知っていた。それでわたしも、あなたがわたしに罪を犯さないようにしたのだ。それゆえ、わたしは、あなたが彼女に触れることを許さなかったのだ。

今、あの人の妻を返していのちを得なさい。あの人は預言者\*であって、あなたのために祈ってくれよう。しかし、あなたが返さなければ、あなたも、あなたに属するすべての者も、必ず死ぬことをわきまえなさい。」

翌朝早く、アビメレクは彼のしもべを全部呼び寄せ、これらのことをみな語り聞かせたので、人々は非常に恐れた。

\* 預言者 ...神の言葉を取り次ぐ者。初出。



## 【アビメレクの詰問】 創20:9～11

それから、アビメレクはアブラハムを呼び寄せて言った。「あなたは何ということをして、くれたのか。あなたが私と私の王国とに、こんな大きな罪をもたらすとは、いったい私がどんな罪をあなたに犯したのか。あなたはしてはならないことを、私にしたのだ。」

また、アビメレクはアブラハムに言った。「あなたはどういうつもりで、こんなことをしたのか。」

アブラハムは答えた。「この地方には、神を恐れることが全くないので、人々が私の妻のゆえに、私を殺すと思ったからです。」



## 【重ねられてきた偽り】 創20:12～14

また、ほんとうに、あれは私の妹です。あの女は私の父の娘ですが、私の母の娘ではありません。それが私の妻になったのです。

神が私を父の家からさすらいの旅に出されたとき、私は彼女に、『こうして、あなたの愛を私のために尽くしておくれ。私たちが行くどこでも、私のことを、この人は私の兄です、と言っておくれ』と頼んだのです。」

そこで、アビメレクは、羊の群れと牛の群れと男女の奴隷たちを取って来て、アブラハムに与え、またアブラハムの妻サラを彼に返した。



## 【和解の保証金】 創20:15～18

そして、アビメレクは言った。「見よ。私の領地があなたの前に広がっている。あなたの良いと思う所に住みなさい。」彼はまたサラに言った。「ここに、銀千枚\*をあなたの兄に与える。きっと、これはあなたといっしょにいるすべての人の前で、あなたを守るものとなるろう。これですべて、正しいとされよう。」

そこで、アブラハムは神に祈った。神はアビメレクとその妻、および、はしためたちをいやされたので、彼らはまた子を産むようになった。

【主】が、アブラハムの妻、サラのゆえに、アビメレクの家すべての胎を堅く閉じておられたからである。



## 【ゲラル事件の真相】

### ■主犯は？

- ・アブラハム

### ■罪状は？

- ・「サラは妹だ」と、嘘をついた。  
実際は、サラは、異母姉妹であり、妻。  
「嘘は半分は真実」 byとある探偵  
半分ホントは、紛れもなく、嘘!!

### ■新たに浮かび上がった事実は？

- ・ウルを出た時から、嘘をつき続けていた。

### ■罰が下ったのは？

- ・“善意の第三者”のアビメレク。  
本来は、被害者。保護されるべき対象!!



どうしてこうなる？

## 【ゲラル事件の背景に働く主の約束】

■ 神の一方的な契約がアブラハムを守った。

・「アブラハム契約」は、無条件契約

・アブラハムに何があろうと、

神が守り、この契約を成し遂げられる!!

■ 最終的に絶対に実現しなければならないのは？

アブラハムの子孫にメシアが誕生すること!!

■ 背後で退けられたのは、

神の計画を阻止しようとするサタンの策略!!



## 【アブラハムにとってのゲラル事件の意味】

### ■ 習慣的に続けてきた罪が明らかに!!

- ・25年以上、妻を妹と偽り続けてきた。

### ■ 背後にあるのは、不安、恐れ。

- ・神に信頼しきれていない部分があった!!

### ■ 私たちの信仰の成長に必要なことは？

- ・神に信頼しきれていなかった点に気づかされ、それを、一つ一つ手放していくこと!!

長年の罪を悔い改め、

次のステージへ向かうアブラハム!!

A landscape photograph of a canyon with a red arrow pointing right. The canyon has layered rock formations in shades of brown and orange. The sky is blue with scattered white clouds. A large red arrow points from the bottom right of the text area towards the right edge of the image.

To The Next !!

## 【神の告白の理由①】 創20:1

アブラハムは、そこからネゲブの地方\*へ移り、カデシュとシュルの間に住みついた。

\* ネゲブ ...南部の荒野。

- 神の裁きにより、荒れ果てたソドム。  
その地を見下ろすヘブロンから  
アブラハムは逃れた？



A large, gnarled tree with a thick trunk and many thin, dark branches stands in the center of a desert landscape. The background features a range of mountains under a sky with a sunset or sunrise, showing colors of orange, pink, and blue. The ground is dry and sandy.

## Ⅱ. イサクの誕生

創世記21:1～8



## 【神の約束の成就】 創21:1~2

【主】は、約束されたとおりに\*、サラを顧みて、仰せられたとおりに\*に【主】はサラになさった。

サラはみごもり、そして神がアブラハムに言われたその時期に、年老いたアブラハムに男の子を産んだ。

\* 繰り返し強調されているのは、主のご計画!!

時も、タイミングも、すべてのことは、  
あくまで、主の約束とご計画の通りに!!



## 【主の恵みに応えるアブラハム】 創21:3

アブラハムは、自分に生まれた子、サラが自分に産んだ子をイサクと名づけた\*。

そしてアブラハムは、神が彼に命じられたとおり\*、八日目になった自分の子イサクに割礼を施した。

アブラハムは、その子イサクが生まれたときは百歳\*であった。

\* 命名も割礼も、主が命じられた通り!!

ますます主に忠実な信仰者アブラハムの姿。

\* 最初の約束から、実に25年目にして!!

ようやく最初の一步が実現した、「子孫の約束」



## 【サラの喜び 乳離れの宴会】 創21:6～8

サラは言った。「神は私を笑われました。聞く者はみな、私に向かって笑うでしょう\*。」

また彼女は言った。「だれがアブラハムに、『サラが子どもに乳を飲ませる』と告げたでしょう。ところが私は、あの年寄りに子を産みました。」

その子は育って乳離れした。アブラハムはイサクの乳離れの日、盛大な宴会を催した\*。

- \* こんな年寄りに子が、と笑ったサラに、イサク(笑い)が与えられ、人々と共に笑いあった。
- \* 3～5歳。乳幼児期の死亡率は極めて高かった。その時期を無事に通り過ぎた、当時の感謝のお祝い。





**Ⅲ. ハガルとイシュマエル**

**創世記21:9～21**



## 【軋轢】 創21:9～10

そのとき、サラは、エジプトの女ハガルがアブラハムに産んだ子\*が、自分の子イサクをからかっている\*のを見た。それでアブラハムに言った。「このはしため\*を、その子といっしょに追い出してください。このはしための子は、私の子イサクといっしょに跡取りになるべきではありません。」

\* 婉曲表現に込められた意味は？ はしためも同様

\* からかう = 笑う、あざける

➡ イサク(笑う)を笑った。

イシュマエル(17～20歳)が、イサク(3～5歳)を!!

➡確かに、尋常な光景ではない。

※以前、神がハガルとイシュマエルを救ったとき、謙遜にアブラハムに仕えるよう命じられた。



## 【主の命令】 創21:11～13

このことは、自分の子に関することなので、アブラハムは、非常に悩んだ。

すると、神はアブラハムに仰せられた。「その少年と、あなたのはしためのことで、悩んではならない。サラがあなたに言うことはみな、言うとおりに聞き入れなさい。イサクから出る者が、あなたの子孫と呼ばれるからだ。しかしはしための子も、わたしは一つの国民としよう。彼もあなたの子だから\*。」

\* 生涯7度目の、主の直接の語りかけ。

\* アブラハムから多くの民が出るという約束が、イシュマエルについても確認される。



## 【荒野のはてに】 創21:14～16

翌朝早く、アブラハムは、パンと水の皮袋を取ってハガルに与え、それを彼女の肩に載せ、その子とともに彼女を送り出した。それで彼女はベエル・シェバの荒野をさまよい歩いた。

皮袋の水が尽きたとき、彼女はその子を一本の灌木の下に投げ出し、自分は、矢の届くほど離れた向こうに行ってすわった。それは彼女が「私は子どもの死ぬのを見たくない」と思ったからである。それで、離れてすわったのである。そうして彼女は声をあげて泣いた。



## 【神のよびかけ】 創21:17～18

神は少年の声を聞かれ、神の使いは天からハガルを呼んで、言った。

「ハガルよ。どうしたのか。恐れてはいけない。神があそこにいる少年の声を聞かれたからだ。行ってあの少年を起こし、彼を力づけなさい。わたしはあの子を大いなる国民とする\*からだ。」

\* ハガルもイシュマエルも生き延びる。

\* かつて、ハガルをかえりみ、子孫の繁栄を約束された主が、二人の命を救った。



## 【イシュマエルのその後】 創 21:19～21

神がハガルの目を開かれたので、彼女は井戸を見つけた。それで行って皮袋に水を満たし、少年に飲ませた。神が少年とともにおられたので、彼は成長し、荒野に住んで、弓を射る者\*となった。

こうして彼はパランの荒野に住みついた。彼の母はエジプトの国から彼のために妻を迎えた。

\* 猟師 ... 神に反逆する者。ニムロデ(創10:8)

\* エジプトは、世の象徴。反ユダヤ主義の根源。

イスラエルを奴隷に!! イシュマエルの子孫が、アラブ人。

■ 人間的な思いから、誕生にいたったイシュマエル。

しかし、命を与えるのは主であり、

すべての命において、主の守りとご計画がある!!





## IV. ベエル・シェバでの契約

創世記21:22~34



## 【アビメレクの提案】 創 21:22～24

そのころ、アビメレクとその将軍ピコルとがアブラハムに告げて言った。「あなたが何をしても、神はあなたとともにおられる。それで今、ここで神によって私に誓ってください。私も、私の親類縁者たちをも裏切らないと。そして私があなたに尽くした真実にふさわしく、あなたは私にも、またあなたが滞在しているこの土地にも真実を尽くしてください。」するとアブラハムは、「私は誓います」と言った。

- \* アブラハムの神は、約束を守る神である。
  - ➡ 主の性質を正しく理解し、恐れたアビメレク。
  - 結果としてアブラハムが果たした仲介者の使命。



## 【アビメレクとの契約】 創 21:25～27

また、アブラハムは、アビメレクのしもべどもが奪い取った井戸のことでアビメレクに抗議した。

アビメレクは答えた。「だれがそのようなことをしたのか知りませんでした。それにあなたもまた、私に告げなかったし、私もまたきょうまで聞いたことがなかったのです。」

そこでアブラハムは羊と牛を取って、アビメレクに  
与え、ふたりは契約を結んだ\*。

\* 両者は、平和の契約を結んだ。



## 【ベエル・シェバ】 創 21:28～31

アブラハムは羊の群れから、七頭の雌の子羊をより分けた。するとアビメレクは、「今あなたがより分けたこの七頭の雌の子羊は、いったいどういうわけですか」とアブラハムに尋ねた。

アブラハムは、「私がこの井戸を掘ったという証拠となるために、七頭の雌の子羊を私の手から受け取ってください」と答えた。

それゆえ、その場所はベエル・シェバ\*と呼ばれた。その所で彼らふたりが誓ったからである。

\* ベエル・シェバ ...7つの井戸。

ベエル・シャバ ...誓いの井戸。

※現在のベエル・シェバは、南部最大の都市。

ITで注目を浴びる、荒野のただ中の学園都市。





【神の平和の内で】 創 21:32～34

彼らがベエル・シェバで契約を結んでから、アビメレクとその將軍ピコルとは立って、ペリシテ人の地に帰った。アブラハムはベエル・シェバに一本の柳の木\*を植え、その所で永遠の神、【主】の御名によって祈った。アブラハムは長い間ペリシテ人の地\*に滞在した。

\*ぎょりゅうの木。 \*この地もまた、神の約束の地の一部。



V. まとめと適用

救いと信仰の成長のステップ

## 【イサクとイシュマエル。アブラハムの二人の息子から教えられること】

★ イサクは、信仰者アブラハムに恵みとして与えられた、神の約束の子。

イサクは、「笑い」 ➡ 主を笑った者に、主が喜びの笑いをもたらされた。

☾ イシュマエルは、アブラハムの、人間的な計画、思いから生まれた子。

イシュマエルは、「主は聞き入れられた」

➡ 主の道から外れた者をも、主が憐み、子孫の繁栄を約束された。

★ 約束の地に縛られたイサク。☾ 獵師となり、地を駆け巡ったイシュマエル。

☾ 人間的には、自由気ままに生きたイシュマエルは、サタンの奴隷。

★ しかし、本当の自由を手にしたのは、神の僕イサク。

## 【イエス・キリストのくびき キリスト者の自由】

マタイ福音書11:28～30

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば たましいに安らぎが来ます。わたしのくびきは負いやしく、わたしの荷は軽いからです。」

- すべての人に負わされた「重荷」とは、  
人が作り上げた口伝律法。人の思い、欲望。
- 十字架と復活の福音を信じることは、  
主イエスのくびきを負うこと。それが真実の解放の道。



## 【過ちを超え さらなる恵みを受けて 次のステップへ】

- 福音を信じて救われた者は、主に信頼して、聖霊に導かれていく。
- 次のステップに上がる時、見過ごしてきた罪に気づかされる時がある。  
主に信頼しきれていなかったところを、さらに委ねるように促される。
- アブラハムは、習慣的に続けてきた一つの罪に気づかされ、  
人間的な思いで一緒に過ごしてきた、イシュマエルとの別れを促された。  
  
➔ **そして次回、アブラハムは、信仰の生涯のピークへ!!**
- 不要なものを手放し、本当に大切なものだけを握りしめていこう。  
主が、あなたを次のステップへと引き上げられる!!

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

ほんとうに たいせつなものだけを にぎりしめ、  
次(つぎ)の一步(いっぽ)を ふみだしていくことが  
できますように。たすけ、みちびいてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」